

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和2年 1月 31日

嶮山小通信

2月号

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

『あったかハーモニー』が生み出す“ワンチーム”の可能性

副校長 内田 宏平

小学生の頃の私は、学校で遊ぶのが大好きでした。授業が終わって帰る時には、「子どもがいなくなった後、先生たちは校庭でのびのび楽しく遊んでいるんだろうなあ。いいなあ。」と勝手な想像をめぐらせていました。…もちろん、そのようなことはありません。放課後も、今日の子どもの活動が明日の成長につながるよう、それぞれの持ち場で一生懸命仕事に励んでいます。

さて、子どもたちの前では「〇年〇組の先生」「〇〇の先生」という立場を前面に出している教職員ですが、放課後はより多面的な顔を持ち、なおかつ重層的な仕事をこなしていきます。例えば、数年前の私は「6年担任、体育部、特別活動部、子ども支援委員会、学校運営部、教務部、広報担当、地域連携担当、バスケットボールクラブ担当、集会委員会担当・・・」といったような役割を担っていました。一人一人がこれだけの役割をもってかかわり合う学校組織は、複雑な分、無限の可能性をもつワンチームだといえます。

嶮山小学校では、学校教育目標『夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったかハーモニー』の実現を目指し、教職員が各々の立場で日々の教育活動を実践しています。数多くの実践の中で、“健康安全部”という部署が中心となって全校で取り組んでいる「歯と口の健康教育」に関する取組みは、青葉区や横浜市で度々表彰される機会がありました。「歯と口の健康教育」については、これまでも学校説明会や学校保健委員会、嶮山小通信や保健だより等でお伝えしてきましたが、生きることに直結する食の入口である「歯と口」をスタート地点として、子どもたちの自尊心を高めていき、最終的には自他のいのちの大切さを実感できるような子、幸せに生き抜く力をもつ子を育てたいという思いをもって取り組む活動です。



1月16日、嶮山小学校は「歯と口の健康教育」が評価され、『令和元年度 横浜市学校保健優秀学校』として表彰されました。横浜市立小学校としては唯一の受賞です。表彰式では、児童支援専任の深谷と4年担任の樋口が、学校代表として、学校の紹介や取組みの概要について発表しました。二人とも、他の教職員と同じように多面的かつ重層的な仕事を担い、いそがしくも充実した日々を過ごしていますが、表彰式では「健康安全部」の一員としての自覚を胸に、嶮山小学校における実践を堂々と発表してきました。表彰式に参加されていた教育委員会の方々や他校の先生方からも、二人の発表を称賛していただきました。

複雑な学校組織において、ともすると、他の部署の取組みに無関心であったり、自分の部署のことを把握しきれていなかったりするような課題が生まれることがあります。そうならないように情報共有の方法を改善したり業務内容をマネジメントしたりする働き方の見直しが各学校で行われています。

嶮山小学校には、学校組織の一部署である「健康安全部」の働きかけを全教職員が自分事としてとらえ、有効な教育活動として子どもたちとともに実践し、それを保護者や地域の皆様に発信してご理解とご協力をいただけるというような有機的なワンチームを創り出せる土壌『あったかハーモニー』があるのです。今回の表彰を受けることができたのは、まさにそのチームとしての根幹の部分の評価していただいたことによるものだと考えています。

また、表彰式当日、同じステージで、すすき野小学校学援隊の皆様が交通安全協力団体表彰を受賞されていました。登下校中の児童の見守りや、校庭内外の草刈り・清掃、ピオープや花壇の整備等々、長きにわたり学校を支えてこられたことを評価されてのものです。

今後とも、保護者、地域の皆様には『あったかハーモニー』実現のためのご協力をお願いいたします。また、来年度から共に過ごす仲間となるすすき野小学校児童、保護者、地域の皆様と新たな可能性を秘めたワンチームを築けること。今からわくわくしています。



横浜市学校保健優秀学校